2022年度 支援対象者のご紹介

井田 奈穂（いだ なほ）

選択的夫婦別姓・全国陳情アクション
事務局長
https://chinjyo-action.com/

プロフィール

IT業界で働く傍ら、全国の地方議会から国会へ選択的夫婦別姓推進の意見書を送る活動に取り組む（10月末現在357件）。2021年には主要8党で国会議員向け勉強会を実施。メンバー登録者数約700名。

支援を通じて成し遂げたいこと

ジェンダー平等を推進する一般社団法人を立ち上げ、まず選択的夫婦別姓の法制化を達成します。また経済団体と連携した政策提言、企業向けジェンダーバイアスチェック、一般・学校向け教育事業などにも取り組みます。

メッセージ

「一人ひとりに、性別問わず平等な権利を取り戻す」私たちのアクションへの応援、感謝申し上げます。ボトルネックを可視化し、足かせとなるジェンダーバイアスや旧弊なルールをご一緒に変えていきましょう。

風間 暁（かざま あかつき）

一般社団法人スワローポケット
代表理事
https://swallowpocket.net/

プロフィール

虐待を受け、加害者家族として肩身の狭い思いをしながら、非行少女として過ごした10代。トラウマや薬物依存症と向き合いながら生き抜いてきた当事者ならではの視点を生かし、現在はロビー活動や有識者会議への参加等を中心に、保護司としても活動しています。

支援を通じて成し遂げたいこと

当事者の声を政策決定のプロセスに組み込むことを当たり前にしたい。誰もが安心して声をあげられる社会構造に変えていきたい。

メッセージ

スティグマの根強いラベルばかり貼られた私を、こうして応援してくださる意味と皆さまの存在を噛み締めています。感謝してもしきれません。変革をもってお返しできるよう精進して参ります。ありがとうございます。

河野 恵美子（こうの えみこ）

大阪医科薬科大学一般・消化器外科
助教
https://www.ompu.ac.jp/u-deps/sur/

プロフィール

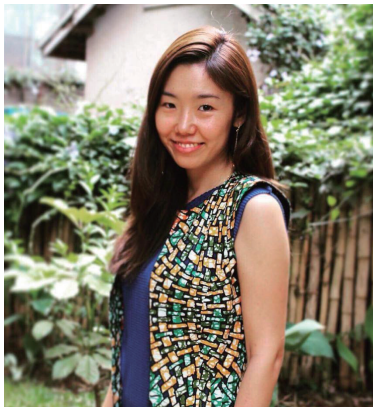
2008年より外科分野におけるジェンダー平等と女性のエンパワーメントの実現を目指し活動を開始。2011年「外科医の手プロジェクト」を立ち上げ、2015年2名の女性外科医と消化器外科女性医師の活躍を応援する会を設立。2020年に内閣府男女共同参画局「令和2年度女性のチャレンジ賞」を受賞。

支援を通じて成し遂げたいこと

専業主婦をもつ男性を基準とした「24時間365日働くのが外科医」という古典的な考えから脱却し、性別に関係なくひとりひとりが尊重され、外科をやりたいと思ったら当たり前に挑戦し、活躍できる社会にしたい。

メッセージ

日本の外科診療は危機的状況で、その救世主は女性であるということを日本国民・政治家に知っていただき、一緒に改革を行う必要があります。ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。



仲本 千津（なかもと ちづ）
株式会社RICCI EVERYDAY
代表取締役
https://www.riccieveryday.com/

プロフィール

1984年静岡県生まれ。一橋大学大学院卒業後、邦銀で法人営業を経験。その後国際農業NGOに参画し、ウガンダの首都カンパラに駐在。その時に出会った女性たちと日本に暮らす母と共に、「RICCI EVERYDAY」を創業。2015年に日本法人、2016年に現地法人を設立。

支援を通じて成し遂げたいこと

全国の女子中高生に向けたリーダーシップ教育を行いたい。彼女たちが社会に出た時にリーダーシップを発揮しながら、時にさまざまなバックグラウンドを持った人々と協力しながら、ありたい姿・社会を実現できるようサポートしたい。

メッセージ

この度は、私共の活動をご支援いただき、本当にありがとうございます。これまで私自身が得られた知見を、惜しみなく若い世代に還元し、ジェンダーギャップの改善に向け行動に移していきたいと考えています。

那須野 あやか（なすの あやか）
株式会社マチノタネ
代表取締役
https://twitter.com/aya_nasuno

プロフィール

1997年生まれ。神奈川県川崎市出身。幼少期のいじめにより18歳でゴミ拾いを通じた居場所作りを始める。過去に地元にて高校の外部講師や、WEBライター、キャンペーン企画を行う。若者と川崎をつなぐプラットフォームの立ち上げを経て、消防団にも所属。コニュニティ作りによる地域資源の再編集と価値創造に取り組む。

支援を通じて成し遂げたいこと

女性の地位向上に理解のある30代以下を増やすことを目的とした地域・政治参加理解向上と地域における女性のライフキャリア選択の提案。

メッセージ

この度は貴重な機会をいただきましてありがとうございます。性別や年齢、肩書きに関わらず前進できる社会にするためにも時代にあったリーダーシップが取れるよう努めていきます。

※那須野あやか氏は、2022年10月14日より選挙活動を開始されたため、同日をもって支援を終了しました。

咸 多栄（はむ だよん）
bgrass株式会社
代表取締役
https://bgrass.co.jp/

プロフィール

bgrass株式会社代表取締役。韓国生まれ日本育ち。新卒からIT業界に入り、エンジニアとして開発に携わる。2022年にbgrass株式会社を設立。IT業界で働く女性のための相談支援プラットフォーム『sister』を運営する傍ら、エンジニアとしても活動中。

支援を通じて成し遂げたいこと

誰もがバイアスに囚われず「なりたい」を解放できる世界を目指しています。まずは、IT業界のジェンダーギャップ解消を目指します。

メッセージ

この度はご支援いただきありがとうございます。ジェンダーギャップ解消のために全力で頑張ります。また、次の誰かにつながるような活動をして行きたいと考えています！

福田 和子（ふくだ かずこ）
#なんでないの プロジェクト
https://www.nandenaino.com/

プロフィール

大学時代、スウェーデンへの留学中に日本での避妊法の選択肢や性教育の不足を痛感し、帰国後SRHR実現を目指す「＃なんでないのプロジェクト」を開始。2021年スウェーデンヨーテボリ大学大学院公衆衛生修士号取得の後、国連人口基金ルワンダ事務所に勤務、現在東京を拠点に活動中。「東大で性教育を学ぶゼミ」講師。

支援を通じて成し遂げたいこと

誰もが自分のからだは自分のもので、自分で決められると実感を持てる社会、すなわちSRHRの実現を目指します。そのために、私自身経験と学を積みながら、SRHRにコレクティブに声を上げる文化を作りたいです。

メッセージ

この度は有難うございます。恥、我儘と置き去りにされてきた性、SRHRの課題に取り組む私を選出下さったことに大きな希望を感じます。その希望を、私自身活動を通し多くの人に届けられるよう、精一杯頑張ります！

町田 彩夏（まちだ あやか）
一般社団法人 パリテ・アカデミー
シニア・トレーナー
http://parity-academy.org/

プロフィール

1995年生まれ。10代より18歳選挙権実現運動や女子高校生が社会問題を議論する「女子高校生未来会議」発起人として社会運動に携わる。2015年、講談社主催の多様なロールモデルを発掘する「ミスiD」に参加、選考委員個人賞を受賞したことで「政治アイドル」としての活動を開始。近年の活動に「みんなの未来を選ぶためのチェックリスト」などがある。

支援を通じて成し遂げたいこと

女性が政治の世界でリーダーシップを発揮することが当たり前の社会をつくりたいと考えています。そのために、同じ方向をみつめるみなさんとともに、前に進んで行きたいと思います。

メッセージ

社会運動に携わることで諦めてきたことや手に入れられなかったものがある中で、自分の人生とその選択に迷ったこともありましたが、今回の結果を受けて今までの10年間をようやく肯定できた気がします。ここからもう一度、頑張ります。

森崎 めぐみ（もりさき めぐみ）
一般社団法人日本芸能従事者協会
代表理事
https://artsworkers.jp/

プロフィール

俳優/日本芸能従事者協会代表理事/全国芸能従事者労災保険センター理事長
芸能界にも社会保障が必要と労災保険の適用を政府に要請し、制度改正に至る。安全で安心な芸能活動を啓蒙しつつ、これからのフリーランス社会で重要な位置にある、芸能従事者の地位を、グローバル水準に確立すべく、シンクタンク活動を推し進める。

支援を通じて成し遂げたいこと

諸外国の軌跡を学びながら、芸能業界のさまざまな課題（ハラスメント、労働災害、安全衛生、長時間労働、誹謗中傷など）の改善を目指し、快適で明るくて健全な、次世代の方々が夢を実現できる業界に近づけたい。

メッセージ

面接で審査員の皆様とお話しできただけでも嬉しく思っていました。まだ実感がわかないですが、女性リーダーにふさわしい人間になれるよう、精進して参りますので、引き続き背中を押していただければ大変幸いです。